

軍艦島 を はかる

第1回テーマ：島内最古の建物 30号棟をはかる

今年で竣工後100年を迎える島内最古、わが国でも鉄筋コンクリート造アパートとしては最古となる30号棟に焦点をあてる

2017. 3. 25土
14:00~16:00

【講演内容】

- ① 軍艦島をなぜはかるのか
- ② 30号棟のいまをはかる
- ③ 30号棟の思い出と想い
- ④ 質疑応答

【講師】

濱本卓司（東京都市大学名誉教授）

1974年の閉山以来無人島となった長崎県端島（軍艦島）、その崩れゆく姿を視覚・聴覚・触覚を用いて、長期モニタリングを行っている。島内での生活経験のある中村陽一氏による当時の島の様子を交え、軍艦島の過去・現在・未来の姿を重ね合わせながら、親しみやすく、わかりやすく解説する。

中村陽一（元NPO法人軍艦島を世界遺産にする会理事／
本学工学部建築学科S38卒）

1938年札幌市生まれ。終戦後の1947年、一家で樺太より引き揚げ軍艦島へ。父君が軍艦島の三菱鉱業(株)の鉱長であったため、中学一年までこの島で過ごす。世界文化遺産に指定された、第2の故郷である貴重な建物を含めた軍艦島の功績を、後世に語り継いでいる。

会場：東京都市大学 二子玉川夢キャンパス
(13:30開場)

対象：本学卒業生／一般／本学教職員／本学学生

定員：100名

【お申し込み・お問い合わせ先】

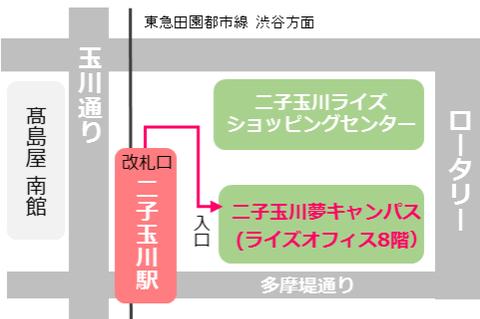
東京都市大学校友会へ、お電話、FAX、Eメールでお申し込みください。参加無料。

TEL 03-3703-3862

FAX 03-3703-4595

Eメール koyukai@tcu.ac.jp

【二子玉川夢キャンパス 地図】



駅改札口を出て、すぐ右の建物です。6階からは低層階用エレベーターで8階へお越しください。

【次回予定】

第2回 2017.9.30(土)

「小中学校（70号棟）、耐波建築（31号棟）最大の建物（65号棟）をはかる」

第3回 2018.3.24(土)

「日給住宅（16～20号棟連結建物）をはかる」
／軍艦島をはかり続ける意味